

# コロナ禍における Moodle の研究室利用について

玉井 啓介\*  
tamai@kit.ac.jp

## 1. はじめに

2020年のコロナ禍以降、Moodleのオンライン授業利用の増加に加え、研究室の情報共有・連絡用の用途で利用したいという要望が相次ぎました。こうした用途でのMoodle利用は稀であり、その背景について記録しておきたいと考えました。本稿では、各研究室に簡単なアンケートおよびインタビューを実施しましたので、その結果および所感について述べたいと思います。

## 2. 質問項目

質問項目としては主に下記5点を用意しましたが、基本的には各自自由な感想をお伺いできればと思いました。下記それぞれの問いに対して、**Q1-A1、Q2-A2、Q3-A3、Q4-A4、Q5-A5**・・・といった具合に対応しております。

**Q1:** 研究室活動のプラットフォームとして Moodle を選択した理由を教えてください。

**Q2:** Moodle を使用して良かった点・便利だった点を教えてください。

**Q3:** Moodle を使用して悪かった点・不便だった点を教えてください。

**Q4:** 学生の反応はいかがでしたでしょうか。率直な感想をお聞かせください。

**Q5:** その他、何かご意見ございましたら、ご遠慮なくお聞かせください。

## 3. 各研究室からの回答

本稿では、こうした Moodle 研究室利用のケースを3点、ご紹介いたします。

\*高度技術支援センター 技術専門職員

## 【デザイン科学域研究支援室】

技術職員の鈴木洋平様にお話を伺いました。



図1 デザイン科学域研究支援室のコース。アップロードされている資料は比較的少なく、フォーラムを活用した一斉通知が主な用途であるという印象。

**A1:** 学生への連絡手段が、アナログな方法（実習室に張り紙をする、教員を通じて連絡を取ってもらうなど）しかなく、緊急の連絡などを行う際に遠方の学生に伝わらないことがあるなど、アナウンスが（特にコロナ禍において）不平等になることがあったからです。

**A2:** 購読機能<sup>[1]</sup>のおかげで、Moodle そのものを見ていない学生に対しても、CIS アカウントのメールアドレス宛にメッセージを送ることができる点を挙げたいです。学生個人と連絡を行うことが容易になりました。コース登録者の追加も、簡単に行うことができ便利です。

**A3:** 読み込みが遅いときがあります。検索機能も、少し使いづらいです。直観的でない表現や分かりにくい単語での説明が多く<sup>[2]</sup>、使い道のよくわからない機能が多い点も。個人メッセージ<sup>[3]</sup>がやや使いづらいです。フォーラムを更新して行うアナウンス（登録者への購読メッセージ）によって、送信されるメールの件

名が、「このメールアドレス宛に返信しないでください」に固定されており、他コースからのメッセージと区別しづらい点も挙げられます。

**A4:** (学生に Moodle について意見を伺ったことがないので、学生の反応ではありませんが、) Moodle を見て支援室を訪ねてくる学生や、Moodle 上で連絡をくれる学生は一定数いるので、想定していた役割は十分果たしてくれていると思います。

**A5:** 学生個人の責任ではあるのですが、Moodle をあまり見ていないようです。CIS アカウントのメールをほとんどチェックしないという学生が少なからずいるので、入学時に CIS アカウントの利便性や、Moodle の重要性について、よりわかりやすく、興味を持ってもらえるように伝えてほしいと思いました。

#### 【物質分析学研究室】

分子化学系 前田耕治教授、吉田裕美准教授にお話を伺いました。

**A1:** 何といても、情報科学センターがメンテナンスしてくれている持続性、安定性でしょうか。具体的には下記3点が挙げられます。

1. アップロードやダウンロードが容易にできること。
2. 利用者が学内の人に限られており、セキュリティがしっかりしていること。
3. 教員・学生ともに、操作をよく知っており親和性があること。

**A2:** データの持続的な安定性、学生には学年を越えて資料を共有できる利便性、研究室の成果などのアーカイブとしての利用、研究室オンラインミーティング、セミナーで、Webex<sup>[4]</sup> とゼミ資料などが一つのプラットフォームで扱える利便性、が挙げられると思います。Moodle の画面から、研究室内の情報や予定を網羅的に見られることも挙げられると思います。

**A3:** データのフォルダ間移動が難しかったことくらいでしょうか。あとは、学内において、Moodle の負荷が大きいいため、研究室のプラッ

トフォームを持つと、他の学生に迷惑がかかるのではないかと心配だった点がありました。



図2 物質分析学研究室のコース。多くの資料が共有されている。

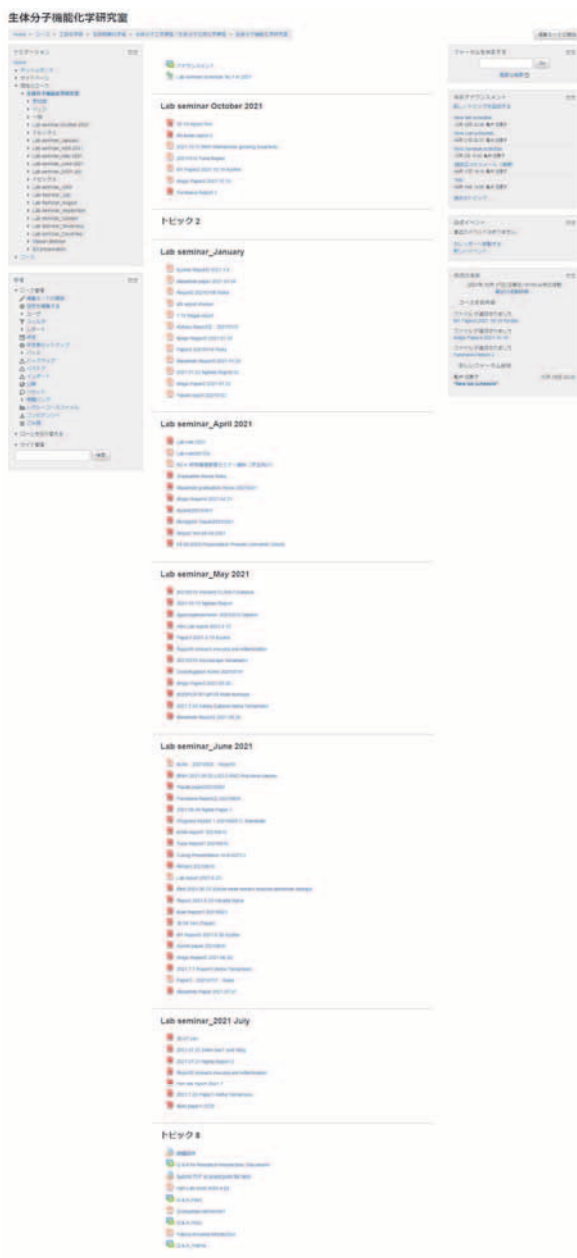
**A4:** 今は空気のように使っているので、特に何

もないです。当たり前のように使っています。

**A5:** 研究室で使用してもいいとお墨付きがもらえたら、安堵いたします。

### 【生体分子機能化学研究室】

分子化学系 亀井加恵子教授にお話を伺いました。



**図3** 生体分子機能化学研究室のコース。たくさんの資料が共有されていることに加え、学生間、とりわけ留学生とのやりとりが活発な点が印象的。

**A1:** 昨年（2020年）、大学が閉鎖になったため、4月、5月と新4年生がラボにまだ来られない

状況が続きました。

その時に、大学院生に各自の研究を紹介するパワーポイントを作って、Moodleにアップロードさせました。それぞれの大学院生に質問する用のフォーラムを設定し、新4年生にはパワーポイントを見て、フォーラムを介して必ず質問するようにと指導しました。これが、Moodleを選んだきっかけだったと思います。

また、近年の流れで、紙の使用量を減らしたかったことも Moodle を使った一つの理由です。



**図4** コース内の質疑フォーラム。大変活発な議論が行われている。特に四回生は、留学生に必ず質問をするように指示があったとのこと。

**A2:** 学生によっては、データが Moodle 上にあるので、自分のデータをあとで見返すのにも使っているようです。今年度は対面でのセミナーに切り替えましたが、Moodle に資料をあげるやり方はそのまま続けています。セミナー中、メンバーは液晶プロジェクターで投影している画面を見ながら、必要に応じてスマホかノート型パソコンを使って、目の前のデータを見たり、小さくて見えないものを手で拡大して見たりしています。

A3: 小テストで穴埋め問題を作成する際の、書式<sup>[5]</sup>が独特で難儀します。

A4: すでに使い慣れているため、特になかったようです。コロナ禍でよく使うようになって、さらに操作に慣れた様子。但し、授業で混みあっている時間帯に、アクセスしづらいといった指摘もありました。

A5: フォーラムでの質問は、他の学生にも質問内容が見えるため、恥ずかしいという意見もありました。対面の時でも、質問は授業後にこっそり、というケースが多いですし、やはり恥ずかしいのかもしれない。

#### 4. おわりに

以上、Moodle の研究室利用の事例をご紹介しました。Moodle の各機能を研究室の活動として、効果的にお使いいただいていたという事実の前提として、本学すべての学生が、Moodle の使い方に慣れている、という点が大きいように思いました。単なるファイル共有、Web 会議のミーティング情報の共有、に留まらず、ここに行けば先生、研究室のメンバーとつながれる、といった安心感ももたらしているように思いました。

#### 参 考

- [1] Moodle で電子掲示板のような役割を果たす「フォーラム」に投稿があったことをメール通知する際の設定。「強制購読」という設定にする場合、参加者全員にメール通知されるため、メーリングリストとして活用いただく事例もありました。
- [2] トピック、ブロック、ロール等、Moodle 独特の用語に、最初は抵抗のあるユーザも多いです。[1] に挙げた「強制購読」もよく質問を受ける用語のひとつです。

- [3] Moodle 上で教師と学生が直接メッセージのやりとりを行う機能。メッセージを送信すると、メールアドレス宛にも通知される。確かに、この手順に関する問い合わせも多く、FAQ として整備するようにしました。
- [4] 本学で導入している Web 会議システム。授業だけではなく、研究室のゼミや輪読、研究指導の目的でも使用され、そのミーティング情報の共有スペースとして、Moodle が活用されました。
- [5] 例えば、小テストで以下のような穴埋め問題を作成する際、

以下のような書式で記載する必要があります。

```
次の都市と正しい州を一致させてください。
* サンフランシスコ : {1:MULTICHOICE:= カリフォルニア # 正解 ~ アリゾナ # 不正解}
* ツーソン : {1:MULTICHOICE: カリフォルニア # 不正解 ~%100% アリゾナ # 正解}
* ロサンゼルス : {1:MULTICHOICE:= カリフォルニア # 正解 ~ アリゾナ # 不正解}
* フェニックス : {1:MULTICHOICE:%0% カリフォルニア # 不正解 ~ アリゾナ # 正解}
フランスの首都は {1:SHORTANSWER:%100% パリ # すばらしい!
~%50% マルセイユ # いいえ、フランスの第2の都市です (パリに次ぐ) ~*# 不正解です。
フランスの首都は、もちろんパリです。}
```

この書式が、直感的ではないという指摘がしばしばあります。

<参考 URL >

[https://docs.moodle.org/38/en/Embedded\\_Answers\\_\(Cloze\)\\_question\\_type](https://docs.moodle.org/38/en/Embedded_Answers_(Cloze)_question_type)